

北海道農業実習

1. 目的 北海道の大規模酪農家、畑作農家にて農業体験実習を行い、勤労精神を養うとともに、北海道の風土文化に接し健全なる心身の育成を図る。北海道農業実習を通して得られた経験を今後の学校生活や進路選択に生かす。
2. 日時 令和5年8月17日（木）～23日（水）
17日（木）～21日（月） 各農家での実習
21日（月）～23日（水） 札幌市周辺文化体験
3. 場所 北海道清水町および札幌市周辺
4. 参加生徒 畜産科・園芸科・食品化学科生徒 5名
5. 生徒感想 農家での実習は、主に牛の搾乳や糞の掻き出し、餌やりなどを行いました。普段の生活では、滅多に経験することができない時間を経験することが出来ました。そして、私は仔牛の世話を任せてもらったことが一番記憶に残りました。仔牛には餌やり以外にもミルクを与えたり、寝具である藁の補充をしたり、大人の牛以上に気を使うことが多く大変だと思いました。しかし、一滴も残さない勢いでミルクを入れたバケツを舐めていて、生まれたばかりであるのにも関わらず、一生懸命に立とうとしている姿を見て、力強い生命力に感動したことを覚えています。牛に関する仕事以外にも、餌に混ぜる竹粉の積荷作業や農業用トラクターに乗せていただきました。
実習を通して、農家の方々が何日も、体が痛くなるような重労働を毎日やっていることを知り、自分の体力の無さを自覚しました。これからは、勉強だけではなく、体力作りと筋力をつける為のトレーニングに取り組み、自分から何をすれば良いかを聞きに行くなど、普段の生活でも積極的に行動できるようになりたいと思います。

